

平成 30 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	奈良井宿のおもてなし商品開発事業
事業主体(連絡先)	桜香会 長野県塩尻市大字奈良井 4 7 2
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,186,686 円 (うち支援金: 2,301,000 円)

事業内容

1 地域内で情報共有

- (1)期日 4月22日 千ちゃんグループ
4月26日 奈良井宿観光協会総会
5月26日 奈良井区総会
- (2)方法 千ちゃんグループと意見交換及び
トウブキ畑協力をお願い
奈良井宿観光協会総会及び奈良井区総会に
おいて協力依頼



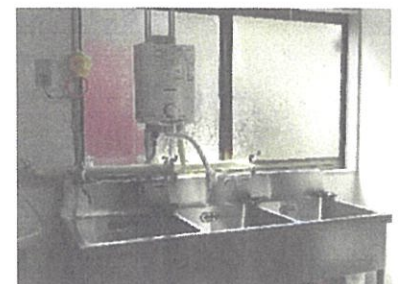
2 資源確保の調整(フキ確保調整等)

- (1)期間 4月上旬から5月中旬(必要量 300 kg)
4月13日 現地確認及び自宅訪問
5月10日 フキ収穫・フキ持参(仕入れ)
5月12日 フキ収穫・フキ持参(仕入れ)
5月16日 フキ収穫・フキ持参(仕入れ)
5月18日 フキ収穫
6月8日 フキ収穫
- (2)方法 地域内で栽培している農家等と調整
自ら収穫し持参して頂いた
次年度フキの提供者5件増
遊休農地3件より申し出あった



3 商品加工所設備と設置

- 所在地 塩尻市大字奈良井 3 7 1 番地
設置設備工事
工事開始 4月1日~5月26日引き渡し



4 商品開発、評価、改良等

(1) 期間 4月～3月

(2) 方法 新商品開発 漬物(2種) 菓子(4種)開発を進めるとともに現商品の磨き上げを行い
県内外へと発信した。

※長野県地域資源製品開発支援センター

5月30日 トウブキ菓子発表記者会見が実施された

※長野県松本地域振興局

おいしい部局長会議でのアンゼリカ・ピクルスの紹介と記者発表

※奈良井宿にて

試食会及び記者発表

※TBS朝日放送「所さんお届け物ですよ」に出演

※桜香会活動関係

4月13日～6月8日まで現地確認から始まり5日間で310kg
フキ収穫をした。

4月22日 千ちゃんグループとの顔合わせ

4月26日 奈良井地区観光協会総会参加

5月10・11日 フキ下処理及び商品開発

5月21日 収穫体験

5月24日 合庁保健所申し込み

5月26日 奈良井地区総会参加

5月30日 商品の記者発表及び取材(地域資源製品開発センター規格)

6月から 商品製造開始(営業許可あり) 賞味期限に順次、グループに分かれて
製造販売をした。

6月30日 檜川中学校東北研修用にミニパック70袋寄贈する

7月10日 塩尻中学生体験と試食

7月25日 商品開発及び試食会

8月1・19日 トウブキ畑視察

8月21日 試食会千ちゃんグループ(商品開発)

10月9日 工房完成祝いと新作試食会

10月26日 おいしい部局長会議(県庁)

アンゼリカ・ピクルス紹介及び記者会見

11月15日 長野県よろず支援拠点ビジネス相談会

11月19日 松本支援センター経過報告・新商品紹介

11月21日 試作品紹介及アンゼリカ・ピクルスのアレンジ料理紹介

1月18日 TBSテレビ「所さんお届け物ですよ」出演・撮影

2月24日放送

☆事業効事業効 ※地域活性化のための目標・狙いに対してどのような効果があったか、項目ごとに記載すること。

1 地域の食文化の継承と地域に対する誇りの醸成

地域の食文化を今一度見直すきっかけとなり、新たに観光的な価値を見いだすことにより、住民全体(子供も含む)に地域に対する誇りを醸成することに繋がっている。

2 観光に対する理解の向上

宿泊施設、飲食店等が試食用に配布した資源を使ったメニュー等を提供したことにより、地域が一体となって資源を発信すること

ができた。また、地域住民にも広く

試食していただいたことで、住民の間でも「食」を活用した観光に対する理解が深まった。

3 消費者と距離の短縮、商品価値の把握

試食会や地元での販売を通じて、消費者のニーズを把握する機会を持つことができた。消費者からの好評を受けたことで、関係者のモチベーションが向上するとともに、商品改善のヒントを得る機会となった。また、商品購入希望者が多く、問い合わせも多かったことから、次年度以降の消費が見込まれる。(リピーターの獲得)

4 地元食材や日本の文化の国際的なアピール

外国人観光客が増加している中、地場食材を提供することにより地域の魅力を、食を通じて体験していただく機会となった。

5 高齢者への生きがいの場の提供

地元の高齢者から、取り組みへの賛同の声を多数いただき資源の提供に興梃できる名乗りをあげていただいた。

6 空き家の活用

地域内での開発→販売→消費につなげるべく、他団体の視察等を行った中で、あきやを活用した商品開発の拠点施設を完成することができた。6月1日より営業する

【目標・ねらい】

- ①地域内での情報共有
- ②「ならいとうぶき」としてのPR
- ③商品開発(確立)
- ④地域の観光に対する理解の向上
- ⑤地産地消の普及

※自己評価【B】

【理由】

- ・住民全体でさらに発信することに工夫が必要(地域内消費含む)
- ・商品を購入するため村外又外国人など、奈良井宿に訪れていただくための工夫が必要。
- ・フキのPRは様々なシーンで実施した
- ・商品が完成した(商品確立)
- ・商品数を多くした

☆今後の取り組み ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1 トウブキの生産量を増やすことで遊休地の活用と、地域住民の雇用につなげていきたい。

2 空き家を活用して地域内に拠点施設を設置することで、域内流通の仕組みを確立したい。

※当面は、奈良井宿に来ると商品が購入できる仕組みを目指す(地域活性化)

3 地域全体で地産地消に取り組むことにより、地域の食文化を発信し

フキ=奈良井を目指したい

4 季節限定になってしまうが、フキの収穫等体験をする場を作る事で、来訪者の

滞在時間の増加を図りたい

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある